Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

同志社大学
東京サテライト・キャンパス

2022年度
秋学期
ご案内

新型コロナウイルスに関する取り組みとご協力のお願い

同志社大学東京サテライト・キャンパスでは、安心してご利用いただくための取り組みを行っています。
イベントや同志社講座でのご利用にあたっては、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご利用される皆様へのお願い

検温へのご協力

受付で検温を実施し 37.5℃以上の発熱や風邪症状等の不調がある場合は入室をご遠慮いただきます。

マスク着用のご協力

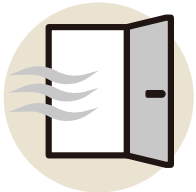
常時マスクを着用してください。着用されていない方には入室をお断りしています。咳、くしゃみなどをする際は、咳エチケットにご協力ください。

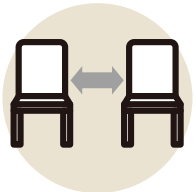
手洗い、消毒のご協力

消毒液を入口に設置しています。手指消毒およびこまめな手洗いをお願いします。

会場での取り組み

常時、換気効果が最大になるよう努めています。
テーブル、椅子、マイクなどの備品は、定期的にアルコールでの除菌・消毒を行っています。
会場のテーブルは前後に通常よりもゆとりを持たせて配置しています。
1 テーブルを 1 名でご利用いただき、前後に重ならない着席をお願いしています。
演台と参加者の間に設置するアクリルパネルを用意しています。





- Contents - 2022年度 秋学期

同志社講座

源氏物語を楽しむ「夕顔の巻を読む」 …… 3P
和歌に学ぶ「今に通じる万葉びとのくらしと和歌」 …… 4P
政治学の知見に学ぶ「危機の時代のEU―民主主義<衰退>の時代に」 …… 5P
研究最新報告「ここまでわかったアルツハイマー病」 …… 6P
日本近現代史に学ぶ「ウクライナ侵攻と日本社会の変化」 …… 7P
脳を科学する「脳の働き、故障、そして再生」 …… 8P
研究者と考える「変わる世界地図」 …… 9P
王朝美を堪能する「京のみやび －宮廷文化の余薫－」 …… 10P

この秋限定の特別イベント 無料 ‥11P

●11/19(土)
同志社大学大学院　脳科学研究科　開設10周年記念
「脳科学　サテライト教室」
人間の可能性がみえてくる脳科学研究の最先端講義
主催:同志社大学大学院 脳科学研究科

●12/14(水)
「ランチタイム・チャペル・アワー in Tokyo」
京田辺キャンパスからのパイプオルガンの音色を楽しもう！
主催:同志社大学キリスト教文化センター

源氏物語を楽しむ「夕顔の巻を読む」

平安時代の宮廷文化は、現代に至るまで人々を引きつけてやみません。この前の火事（応仁の乱）を経験した一条兼良は、源氏物語を日本の至宝と絶賛しました。その余香は、紫式部の名文から読み取ることができます。初めて受講される方にも、また源氏物語が初めての方にも分かりやすく読み進めます。京都人の視点で読み解く源氏物語をご堪能ください。

講師

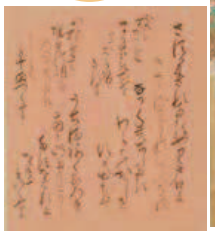
いわつぼ　たけし
岩坪　健　同志社大学 文学部 教授

文学博士。1957年京都市生まれ。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究-中世源氏学の流れ-」で文学博士。同志社大学宮廷文化研究センター長。受賞歴：1989年「源氏物語の二段階伝授について－河内方と四辻善成・一条兼良をめぐって」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年『源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道』で第15回紫式部学術賞を受賞。著書：『光源氏とティータイム』（新典社/2008）『ウラ日本文学―古典文学の舞台裏―』（新典社/2011）『錦絵で楽しむ源氏絵物語』編著（和泉書院/2012）『源氏物語といけばな』（平凡社/2019）『「三玉挑事抄」注釈』（和泉書院/2019）など多数。

講義日

10/13(木)、11/10(木)、12/8(木)、1/12(木)、3/9(木)

「夕顔の巻」読みどころ



同志社大学図書館所蔵　古土佐源氏五拾四状画賛　夕顔

源氏物語54帖のうち夕顔の巻は第4帖ですが、第3帖までのあらすじを知らなくても、夕顔の巻は読めます。その巻に登場する女性を夕顔の君と呼び、亡き後も光源氏を魅了しました。後世の人々をも引きつけ、能楽などの題材になりました。それほど愛されたのは、何故でしょうか。源氏が恋した藤壺の気品、紫の上の優美さ、明石の君の聡明さも、夕顔の君は持ち合わせていません。夕顔の魅力について、読み解いて行きましょう。

夕顔の君と源氏の仲を取り持ったのは人ではなく、彼女が身を寄せていた家に咲く夕顔の花です。二人とも相手に素性を明かさず、夕顔の君は物の怪に取り付かれて急死します。その物の怪には六条御息所が絡んでいるようです。六条御息所は前の皇太子妃殿下で、邸宅のお庭には朝顔の花が咲いていました。この巻は朝顔と夕顔、朝と夜に咲く花、いわば光と影の対比が見事に描かれているのです。（岩坪健記）

開催概要

定員	時間
36名	13:30～15:00

受講料

15,000円（一括のみ）
＊教材費は含みません。

お支払い

初回の受付でお支払いください。

教材

<夕顔の巻>
『校注 源氏物語分巻叢書 夕顔』
中野 幸一 編
武蔵野書院 660円(税込み)

各自でご用意ください。
毎回必ずご持参ください。
＊武蔵野書院HPから購入できます。
https://www.musashinoshoin.co.jp/shoseki.html

より理解を深めるための 岩坪先生推奨書籍

『錦絵で楽しむ源氏絵物語』
岩坪健 編著（和泉書院/2012）
『見る・知る・読む　源氏物語』
中野幸一 著（勉誠出版/2013）
『源氏物語絵巻』
（ビジュアル選書）（新人物往来社（編）/2011）
『すぐわかる源氏物語の絵画』
田口榮一ほか 著（東京美術/2009）

同志社講座受講にあたってのお願い

○受講受付時の混雑を避けるため、ソーシャルディスタンスの維持にご協力ください。
○受付時の検温にご協力ください。
○発熱や風邪症状等の不調がある場合は会場での受講をご遠慮ください。
（受講中に体調を崩された場合は、速やかにスタッフにお申し出ください。）
○構内では常にマスクをご着用ください。咳、くしゃみなどの際は咳エチケットにご協力ください。
○構内での食事はご遠慮ください。
○厚生労働省が配布している新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のご活用をお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする保健所等の公的機関からの要請により、受講生の個人情報を提供する場合があります。

和歌に学ぶ

「今に通じる万葉びとのくらしと和歌」

万葉の時代はいまから1300年ほど前。その後、幾多の政治制度や社会の変革が起こった中で、失われた生活様式や考え方はけっして少なくないはずですが、それでも万葉の歌を読み解いていくと、今と変わらない発想や人々の思いに驚かされます。万葉の時代と現代では、何が変わり、何が変わらないのか。わたしたちの暮らしに即して見ていきます。

講師

かきみ しゅうじ
垣見 修司　同志社大学 文学部 教授

博士（文学）。1973年奈良県出身。1996年同志社大学文学部文化学科　国文学専攻卒。関西大学大学院 文学研究科国文学専攻修了。研究分野:上代日本文学『万葉集』巻十三の長歌、記紀歌謡および上代語を主な対象とする。高等学校教諭を経て、2009-2012年 高岡市万葉歴史館研究員。2013年より同志社大学准教授。2017年より現職。2011年第4回萬葉学会奨励賞受賞。著作[著書]『万葉集巻十三の長歌文芸』（和泉書院、2021年）、[論文]「万葉集巻十三の巻頭歌：汗瑞之振の意義」（『同志社国文学』92 号、2020年）、「『万葉集』と古代の遊戯―双六・打毬・かりうち」（『アジア遊学147号　唐物と東アジア　舶載品をめぐる文化交流史』勉誠出版、2011年）。

1回 10/20木「万葉びとと賭け事」

万葉の時代も、賭け事はよく行われていたようです。花札こそまだありませんが、サイコロを振る遊びは、当時は子どもの娯楽というよりむしろ賭け事でした。山上憶良はそのサイコロを歌に詠み、舎人親王は即興で歌が詠めたら褒美を与える賭けをしています。万葉の歌から、当時行われたいろいろな賭け事を振り返ります。

2回 11/17木「万葉びとと風習」

万葉集には七夕を詠んだ歌が残されています。春には若菜摘みも年中行事のように行われていました。土用の丑の日はまだないようですが、夏にうなぎを食する歌もあります。いまに伝わる年中行事や折々に行われる習慣を詠んだ歌を通じて、万葉びとの思いを探ります。たぶんいまの私たちとあまり変わるところはありません。

3回 12/15木「万葉びとと親子」

妹背などの夫婦、男女間にやりとりされた相聞の歌は多いのですが、人間にとって家族はいつの時代も普遍的なテーマです。とりわけ親子はどんな風に歌われているでしょうか。「憶良らは今は罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ」（巻3−337）で有名な、山上憶良の歌を中心に、子どもへの思いを見ていきます。

4回 1/19木「万葉びとと雪」

雪は詩において洋の東西を問わず重要な素材ですが、万葉集でも冬の歌にはやはり雪が歌われます。大和（奈良県）で降る雪と雪国越中（富山県）で降る雪とでは歌われ方にも違いがあり、生活の中での捉え方もずいぶん異なっていたのは今に通じることと言えるでしょう。雪の季節に、万葉びとの雪へのまなざしを確認します。

5回 3/16木「万葉びとと農事」

万葉びとにとって稲作をはじめとする農業は、食糧だけでなく経済力の確保のためにも欠くことのできない営みでした。『百人一首』の天智天皇歌は、中世の人々が、天皇でさえ稲刈りに従事していた牧歌的な古代を想像していたことを感じさせますが、庄（田どころ）に通う貴族の生活の実態はそれに近かったかもしれません。

開催概要

定員	時間
36名	13:00〜14:30

受講料
15,000円（一括のみ）

お支払い
初回の受付でお支払いください。

資料
当日講師より配付いたします。

より理解を深めるための 垣見先生 推奨書籍

『**万葉集の基礎知識**』
上野誠、鉄野昌弘、村田右富実編
（角川選書/2021）

『**高岡市万葉歴史館論集 17 万葉の生活**』
高岡市万葉歴史館編
（笠間書院/2017）

『**日本の歴史 3 改版 奈良の都**』
青木和夫（著）
（中公文庫/2004）

政治学の知見に学ぶ

「危機の時代のEU―民主主義<衰退>の時代に」

欧州統合は、常に歴史の試練に晒されてきた「未完のプロジェクト」であった。近年では、単一通貨ユーロ危機、移民・難民流入、イギリスの離脱、コロナ危機、さらにロシアのウクライナ侵攻を受けて大きな変革に迫られている。本講座では、過去の欧州統合の歴史を振り返りつつ、先のフランス大統領選結果などを踏まえ、民主主義<衰退>の時代のEUの役割を考える。

講師

よしだ とおる
吉田 徹　同志社大学 政策学部 教授

1975年東京生まれ。慶應義塾大学法学部卒。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了（学術博士）。日本貿易振興機構（JETRO）調査部、パリ・センター調査担当ディレクター、パリ政治学院招聘教授、ニューヨーク大学客員研究員、北海道大学法学研究科／公共政策大学院教授を経て2021年4月より現職。専門は、比較政治学、欧州政治、欧州統合。著書に、『居場所なき革命　フランス1968年とドゴール主義』（みすず書房/2022）『くじ引き民主主義　政治にイノヴェーションを起こす』（光文社/2021）『アフター・リベラル　怒りと憎悪の政治』（講談社/2020）『「野党」論―何のためにあるのか』（ちくま新書/2016）『ミッテラン社会党の転換―社会主義から欧州統合へ』（法政大学出版局/2008）など多数。

1回 10/19水「欧州統合の歴史」

欧州統合の歴史は1950年代に遡ることができるが、それは単なる独仏和解に留まるものではなく、冷戦構造を背景にした現実主義的な政治的選択でもあった。欧州統合の原動力となったものは何なのか、歴史的経緯を踏まえて解説する。

2回 11/9水「EUの機能と政策」

「未確認政治物体（UPO）」と呼称されることもあるEUは、非常に複雑な意思決定メカニズムと複合的な政策領域を有している。ここでは、EUの機能と組織についての基礎的な知識を学び、それが時代とともにいかに変遷してきたのかを確認する。

3回 11/30水「EUのなかのフランス」

EUのなかでも主要国として、そのけん引役となってきたのがフランスであり、パートナー国である（西）ドイツだった。もっとも、ドイツ統一以降、フランスのEU内での地位は著しく低下し、国内では右派ポピュリズムの台頭をみるなど、大きな変化に見舞われている。2022年大統領選を起点に、過去の歩みを総括する。

4回 12/14水「民主主義の<衰退>？」

英EU離脱、トランプ政権や欧州のポピュリズム政治台頭など、2010年代は先進国を含め、民主主義の<衰退>や<危機>が多く論じられるようになった。そこで、ポピュリズム政治とは何なのか、民主主義は現実に<衰退>しているのかどうかを精査する。

5回 1/13金「EUと世界政治」

世界政治は、ロシアのウクライナ侵攻によっても大きな変転期を迎え、「ポスト・ポスト冷戦時代」に本格的に突入している。目下問われているのは「民主主義対専制主義」あるいは「リベラルな国際秩序」の行方とされる。かかる状況でEUはどのように立ち振る舞うのか、日本との関係を含め議論する。

開催概要

定員	時間
36名	18:30〜20:00

※開講曜日について
第5回のみ**金曜日**開催です。1〜4回と異なりますのでご注意ください。

受講料
15,000円（一括のみ）

お支払い
初回の受付でお支払いください。

資料
当日講師より配付いたします。

より理解を深めるための 吉田先生 推奨書籍

『**アフター・リベラル 怒りと憎悪の政治**』
吉田徹著
（講談社/2020）

『**民主主義を救え**』
ヤシャ・モンク著（吉田徹訳）
（岩波書店/2019）

『**ヨーロッパ統合とフランス 偉大さを求めた 1 世紀**』
吉田徹編
（法律文化社/2012）

受講に関するご案内

お申込み方法

■ WEBサイトもしくはFAXにてお申込みください。
（メール、電話でのお申込みはお受けしておりません。）

〔WEBサイト〕
同志社大学東京オフィスHP ＞講座のお申込み
お申込みフォームをご利用ください。

〔FAX〕
同封の「受講申込書」をご利用ください。

※受講申込書のFAX送信は受付開始以後にお願いいたします。
受付開始以前に送信されたものは無効とさせていただきますのでご注意ください。

■ 本講座は、同志社大学東京サテライト・キャンパスにて開催いたします。

新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする不測の事態の際はオンライン形式に変更する場合がございます。予めご了承ください。
※オンライン形式による受講に関する要領は、別途記載（「オンライン受講について」）にてご確認ください。

お申込み受付・受講確定

■ お申込みは先着順で受付し、定員になり次第募集を終了します。
（注）欠員待ちは行っておりません。
（注）所定の人数に達しないなどの理由で、開講しない場合があります。

■ 受講が決まりましたら、「受講票」を郵送します。受講票の到着をもって受講確定といたします。
（注）受講票は1講座1枚です。受講当日、必ずお持ちください。

■ 定員を超えるお申込みを頂戴し受講いただけない方には、お申込み時の連絡先にお知らせいたします。

受講料のお支払い

■ 受講料は初回の受付でお支払いください。
■ 各講座とも受講料は全回分（一括）です。金額は各講座のご紹介欄でご確認ください。
■ 会場受付でのお支払いは現金のみです。
■ いったん納入された受講料は返還いたしませんのでご注意ください。
■ 初回をオンラインで受講される場合は、事前振り込みが必要です。該当の方には、別途、ご案内を差し上げます。

研究最新報告

「ここまでわかったアルツハイマー病」

加齢とともに発症する可能性が高くなる認知症。アルツハイマー病は認知症の半分を占める疾患です。進行性で治療選択肢が限られているこの疾患、いったい脳の中では何がおこっているのでしょうか?治療薬は?アルツハイマー病の最新研究の成果を学びます。

講師

みやさか　ともひろ
宮坂 知宏
同志社大学
生命医科学部　准教授

博士(医学)。1972年東京都出身。日本大学薬学部卒、北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了。理化学研究所研究員、東京大学助手を経て 2007年同志社大学に。大学院生時代から四半世紀、アルツハイマー病の神経変性メカニズムとして一貫してタウの役割に注目し研究を行ってきた。生命医科学部では疾患基礎研究の指導とともに、脳をはじめとする人体の構造と機能、さらには認知症の発症メカニズムおよびその治療薬開発の現状について科学、社会学の両面から論じる講義を行っている。

講師

ふなもと　さとる
舟本 聡
同志社大学
生命医科学部　准教授

博士(理学)。1969 年北海道出身。北海道大学大学院理学研究科博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員、カリフォルニア大学サンディエゴ校分子遺伝学センター博士研究員、東京大学大学院医学系研究科助手等を経て、現職に至る。日本認知症学会代議委員を務める。生化学や細胞生物学的手法を基に、アルツハイマー病の発症機序の解明や治療・予防法の開発に従事する。特にアルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイドベータ(Aβ)の産生機序の解明と副作用の少ないAβ産生抑制法への貢献を目指している。

1回 11/28月 講師 宮坂 知宏
「アルツハイマー病ってどんな病気?」

なんとなく知っているアルツハイマー病とはどのような疾患なのか?その発見から病気の定義、脳内でおこる異常な変化とその進行、遺伝の関与など、続く4回の講義の理解に必要なアルツハイマー病の全体像について解説いたします。

2回 12/5月 講師 舟本 聡
「ここまで進んだ治療薬開発の現状」

アルツハイマー病の上市されている薬剤はありますが、どれも根本治療薬(疾患修飾薬)ではありません。疾患修飾薬の開発には発症機序の理解が不可欠で、この講義では Aβの産生や蓄積の機序について解説し、最新の疾患修飾薬開発について理解を深める予定です。

3回 12/12月 講師 舟本 聡
「アミロイドβはなぜ大脳に蓄積する?」

アルツハイマー病では、神経変性と呼ばれる異常な状態が大脳で多く認められますが、小脳では少ないことが知られています。同じ脳でも領域によって神経変性の程度が異なるのは何故なのでしょうか。これを理解できると発症予防のヒントになるのかもしれません。

4回 12/19月 講師 宮坂 知宏
「タウの異常局在が発症のカギ?」

アルツハイマー病において、神経細胞に障害を与えるのはタウとよばれるタンパク質の仕業と考えられています。同志社大学では、認知症発症につながるタウ異常化の解明をめざして研究してきました。今回はその最新の成果について解説いたします。

5回 12/26月 講師 角田 伸人
「アルツハイマー病発症への脳内変化はいつから知れるか?」

脳内のAβ蓄積は、画像診断が可能になりましたが、高コストです。すみやかな診断をするため、排出先の脳脊髄液や血中Aβ濃度測定に注目が集まり、その開発が熾烈です。このAβの測定の現状と脳病態との関係をご紹介いたします。

講師

かくだ　のぶと
角田 伸人
同志社大学
生命医科学部　助教

博士(医学)。1976年新潟県出身。国立長岡工業高等専門学校工業化学科から東京工業大学生命理工学部生物工学科へ進学、2001年同大大学院生命理工学研究科修士課程修了、2005年東京大学大学院医学系研究科博士課程単位取得退学、2005年-2011年株式会社免疫生物研究所、2011年-2013年同志社大学にて特任研究員、2013年東京大学において博士(医学)取得。2013年-2015年ベルギー王国ルーベン大学留学を経て、2015年4月より同志社大学生命医科学部助教。

開催概要

定員	時間
36名	13:30〜15:00
受講料	
15,000円 (一括のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

キャンセル
- お申込み後に受講を取りやめたい場合は、同志社大学東京オフィスに電話にてお知らせください。

教材
- 講師指定の教材(書籍など)を各自でご用意いただく場合があります。講座の開催概要をご確認ください。

修了証
- 受講の講座を全回出席された方に修了証をお渡しいたします。

欠席
- ご欠席の連絡は不要です。

その他のお願い
- 受講日当日は、受付にて「受講票」をご提示いただきます。
- 受付は講座開始の30分前から開始いたします。
- 講義中は携帯電話の電源を切るなど、他の受講者にご迷惑とならないようご注意ください。
- 講義の録画、録音、写真撮影は禁止です。(講師が許可した場合を除く。)オンライン受講においても同様です。
- お申込み時にお届けいただいた住所やメールアドレスなどに変更がある場合は、速やかに同志社大学東京オフィスまでご連絡ください。
- 他の受講生、講師の連絡先はお教えできません。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況や天変地異(台風・地震等の天災)、講師の事情など不測の事態の際には、休講などの措置を取らせていただく場合がございます。

日本近現代史に学ぶ

「ウクライナ侵攻と日本社会の変化」

ロシアのウクライナ侵攻は20世紀型の帝国主義的構図であった。日本の満州事変やナチスドイツのポーランド侵攻とほとんど同じ手法、同じ考え方に基づいていた。ロシアの生命線を軍事力で守るというのである。こういう戦争は、21世紀にはあり得ないと思っていたが、見事に裏切られた。その波紋は日本社会にどう及んでくるのだろうか。

講師

ほさか　まさやす
保阪 正康
ノンフィクション作家
評論家
日本近現代史研究者

1939年札幌市生まれ。1963年同志社大学文学部社会学科卒。1972年『死なう団事件』で作家デビュー。2004年個人誌『昭和史講座』の刊行をはじめ一連の昭和史研究により菊池寛賞受賞。2017年『ナショナリズムの昭和』で和辻哲郎文化賞を受賞。近現代史の実証的研究を続け、これまで約4000人の人々に聞き書き取材を行っている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。近著『石橋湛山の65日』(東洋経済新報社/2021)『歴史の予兆を読む』池上彰共著(朝日新書/2021)　文藝春秋で「日本の地下水脈」連載中。ラジオ出演　月曜「NHKラジオ・アーカイブス 〜声でつづる昭和人物史」

1回 10/21金
「プーチンの描くロシア帝国とその大国主義」

プーチンはなぜウクライナに軍事侵攻したのだろうか。自らの思惑と感覚だけで自由に歴史を振り回せると考えた理由は何なのか。プーチンはロシア帝国再興という自らの夢にその政治活動の全てを賭けている。プーチンの描く構想はかつてのスターリンの夢とはどう違うのか。改めて日本からの目でロシア帝国を分析する。

2回 11/18金
「ロシアの不正義、ウクライナの正義、その二面性」

ロシアは不正義であり、ウクライナは正義という二面性、全てがそのように割り切れるわけではないにせよ、私たちはこの論理になじんでいる。むろんこの見方が正しいと思うが、同時にこれだけで見ていると全体図が見えないとの誤りを犯すことになる。ロシアはなぜ不正義なのか、それを考える。

3回 12/16金
「アメリカやEUの側から見るロシアの戦争」

今回の戦争はロシアの暴挙であるにせよ、アメリカもまた隠れた主役である。武器の援助や徹底したウクライナ支援、軍事的にはアメリカ主導の戦争ではと思われる面もある。なぜなのか。このことを分析していくと、21世紀もアメリカが世界の政治、軍事を支配する方向が見えてくる。その点を考える。

4回 1/20金
「日本社会の軍事アレルギー、その変化」

今回の戦争は、日本社会に大きな変化を促している。軍事に対する従来のアレルギーが、消えていきつつあるかに見える。あるいは防衛費の増額の声もある。こうした変化は特に若い世代に多い。現代日本は戦後社会の枠組みを解体の方向に進めていくかに見える。改めて日本社会に突きつけられた問題と向き合う。

5回 2/17金
「人類史と戦争、新しい形の軍事学」

人類史は戦争を中心に歴史を作ってきた。今回の戦争もまたそのような意味合いを持つのだろうか。私たちは、戦争を抜きにした歴史を作りうるか、それが今問われている。戦争の持つ怖さ、それは単に生命の危機だけでなく、人類が自己崩壊する恐怖に繋がっている。人類はいかなる軍事学を確立しうるのだろうか。

開催概要

定員	時間
36名	13:30〜15:00
受講料	
15,000円 (一括のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

より理解を深めるための 保阪先生 推奨書籍

『歴史の予兆を読む』
池上彰(著)・保阪正康(著)
(朝日新書/2022)

『歴史とは何か』新版
E.H.カー(著)近藤和彦(翻訳)
(岩波書店/2022)

『メルケル　世界一の宰相』
カティ・マートン(著)
倉田 幸信 (翻訳)
森嶋 マリ (翻訳)
(文藝春秋/2021)

オンライン受講について

同志社講座は、同志社大学東京サテライト・キャンパスにおいて対面形式で開講いたします。ただし、新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする不測の事態の際はオンライン形式に変更する場合がございます。また、受講生の皆様のご都合やご事情により、オンライン形式での受講をご希望される場合は予めご連絡ください。可能な範囲でご対応いたします。
(※ご対応できない場合もございます。予めご了承ください。)

オンライン形式による受講に関するご注意
- 受講にはカメラ、スピーカー、マイクが付属するパソコンやタブレット、スマートフォンなどが必要です。
  ※機器はインターネットに接続されている必要があります。
  ※同志社大学東京オフィスでは、機器の貸出しや技術支援はできません。ご了承ください。
- オンライン接続のURLは第三者に共有しないでください。
- 講座の録画・録音は禁止です。

オンライン形式による受講を希望される場合のご連絡
- 初回をオンライン形式で受講されたい場合は、お申込み時にお申し出ください。受講料の事前振り込みをご案内いたします。
- 2回目以降は当該講座の3日前(休業日を除く)までにご連絡ください。前営業日にメールにてオンライン接続のご案内と配付資料をお送りします。

講座日に会場に来ることやオンライン受講ができない場合
- オンデマンド(ビデオ録画データ)での受講が可能です。該当講座日の翌日以降(休業日を除く)にオンデマンド受講用のURLとご案内、配付資料をメールにてお送りします。詳しくはお問合せください。

脳を科学する

「脳の働き、故障、そして再生」

私達の心を生み出している脳はどのように働き、どのように故障し、さらにどのように再生するのでしょうか? 同志社大学大学院脳科学研究科の研究成果も交え、脳科学の最先端を分かりやすくお話しします。

講師

櫻井 芳雄（さくらい よしお）

同志社大学大学院
脳科学研究科　教授

医学博士。東京都出身。京都大学大学院文学研究科博士課程中退、広島大学総合科学部助手、富山医科薬科大学（現富山大学）医学部助教授、ジョンズ・ホプキンス大学客員助教授、京都大学霊長類研究所助教授、生理学研究所客員助教授（併任）、京都大学文学研究科（心理学）教授などを経て、2015 年より現職。システム脳科学分野　神経回路情報伝達機構部門　部門長。心理学と神経科学を融合することで、記憶や認知などの高次機能に関わる脳の働きを神経細胞と神経回路のレベルから解明しようとしている。主な著書に『考える細胞ニューロン』（講談社/2002）、『脳の情報表現を見る』（京都大学学術出版会/2008）、『脳と機械をつないでみたら』（岩波書店/2013）、『良心から科学を考える』（岩波書店、分担執筆/2021）などがある。

講師

正水 芳人（まさみず よしと）

同志社大学 大学院
脳科学研究科　教授

博士（医学）。東京都出身。2002年京都薬科大学薬学部卒業。2004年京都大学大学院医学研究科修士課程修了。2008年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。2008年 学振特別研究員(PD)、2010年基礎生物学研究所光脳回路研究部門研究員、2014年助教、2016年東京大学大学院医学系研究科細胞分子生理学教室助教、2018年講師。2018年～2021年JST さきがけ研究員（兼任）。2019年理化学研究所脳神経科学研究センター脳機能動態学連携研究チーム副チームリーダー。2021年より現職。システム脳科学分野　脳回路機能創出部門　部門長。脳機能を回復させるための基盤技術開発をおこなっている。

1回 10/12水 講師 櫻井 芳雄「脳の情報処理の特性－機械とどう違うのか？」

まず脳の基本構造と神経細胞の働き方について解説し、さらに脳内の信号伝達と情報処理の特性について、コンピュータとの違いに焦点を当てお話しします。そこから、脳はなぜ間違えるのか、人工知能（AI）は心を持つようになるのか、などについても答えが見えてきます。

2回 10/19水 講師 櫻井 芳雄「視覚の可塑性－見ている世界は真実か？」

私達は眼に映った世界を見ているのではなく、脳が作った世界を見ています。そのような視覚世界を作る脳の回路と情報処理について解説します。さらに、見る=認識するではないこと、視覚回路は柔軟に変わり得ること、人工視覚が可能であること、についてもお話しします。

3回 10/26水 講師 櫻井 芳雄「記憶と高次機能－消えない記憶は有用か？」

記憶は脳のどこでどのように作られているのでしょうか。記憶の実体は何でしょうか。記憶を作る神経回路には個性があるのでしょうか。さらに、記憶力の良い人は判断・統合・創造などの高次機能も優れているでしょうか。これらの問題についてわかりやすく解説します。

4回 11/2水 講師 金子 奈穂子「成熟脳内で生まれる神経細胞」

脳で重要な機能を果たす神経細胞は、発達早期に作られて生涯入れ替わることはありません。しかし成熟した脳内でも、ごく一部の領域では神経細胞が作られていることがわかってきました。新しい神経細胞は、成熟した脳の機能を調整したり、再生したりする特別な役割を担っています。

5回 11/9水 講師 金子 奈穂子「新しい神経細胞による傷害脳の再生」

成熟した脳内で作られた新しい神経細胞は、傷害部に移動して神経細胞を再生しますが、その再生能力は十分ではありません。新しい神経細胞のはたらきを理解して、制御・増強することで最大限に活用し、脳疾患の治療に応用するための様々な研究が行われています。

6回 11/16水 講師 正水 芳人「脳神経疾患治療の最前線」

脳神経疾患によって神経回路ネットワークに障害が生じると、脳機能が低下します。現在、私の研究室では脳機能を回復させるために、神経細胞ファイバーを脳に移植し新たな神経回路を創出するための基盤技術開発をおこなっており、この研究の概略と将来展望を取り上げる予定です。

講師

金子 奈穂子（かねこ なおこ）

同志社大学大学院
脳科学研究科　教授

博士（医学）。山梨大学医学部卒、山梨大学医学部精神神経医学講座　研修医・医員、山梨大学大学院博士課程、慶應義塾大学医学部生理学教室　共同研究員、井上フェローを経て、2009年より名古屋市立大学大学院医学研究科再生医学分野助教、2018年准教授。脳科学研究によって、成熟した脳が持つ再生能力の可能性と限界を明らかにし、臨床医として直面してきた脳疾患の治療の難しさを克服する手掛かりを掴むことを目指している。2022年4月より現職。病態脳科学分野　神経再生機構部門　部門長。

より理解を深めるための

櫻井先生 推奨書籍

『脳はいいかげんにできている』
デイヴィッド・J.リンデン著
(河出書房新社/2017)

金子先生 推奨書籍

『脳をどう蘇らせるか』
岡野栄之著（岩波書店/2016）

正水先生 推奨書籍

『パーキンソン病とともに楽しく生きる』
水野美邦著（中外医学社/2013）

開催概要

定員	時間
36名	13:30～15:00
受講料	
18,000円（一括のみ）	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

研究者と考える

「変わる世界地図」

2021年の8月、アメリカはアフガニスタンから撤退しタリバン政権が復活した。2022年2月、ロシアはウクライナ侵攻を開始し、両国は激しい戦闘に陥った。世界の秩序が根底から揺らぐ今、変わる世界地図を問い直してみよう。

講師

山本 忠通（やまもと ただみち）

同志社大学
客員教授

東京工業大学卒業後外務省入省。英国オックスフォード大学卒業。外交官。外務大臣秘書官、北米第一課長、在韓国及び在米国公使、ボストン総領事、外務省広報文化交流部長、ユネスコ常駐代表（特命全権大使）、アフガニスタン・パキスタン支援担当政府代表、ハンガリー駐箚特命全権大使。2014年国連勤務。2016年6月から2020年3月までアフガニスタン担当の国連事務総長特別代表。著書に『アフガニスタンの教訓　挑戦される国際社会』内藤正典共著（集英社新書/2022）

講師

内藤 正典（ないとう まさのり）

同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ
研究科　教授

博士（社会学）。東京大学教養学部教養学科（科学史・科学哲学分科）卒、東京大学大学院理学系研究科地理学専攻中退。一橋大学教授を経て、2010年から同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。専門は、国際移動論、現代イスラーム地域研究、多文化共生論。著書に『教えて!タリバンのこと』（ミシマ社/2022）、メールマガジン「内藤正典のTwitterでは書けなかったこと」連載中。

講師

村田 雄二郎（むらた ゆうじろう）

同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ
研究科　教授

東京大学教養学部卒、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科教授を経て2018年より現職。東京大学名誉教授。日本学術会議連携会員、中国研究所理事。1990-91年北京日本学研究センター講師。1999-00年ハーバード・イエンチン研究所客員研究員。専門は、中国近現代史、日中関係史。近書に『語言・民族・国家・歴史―村田雄二郎中国研究文集』（重慶出版社/2020）

1回 10/14金 講師 山本 忠通「アフガニスタンと国際社会」

タリバン制圧から1年以上経つが、制圧直後に約束された包摂的な政府も女性の権利も満足に実現されていない。人道的危機をも抱え、国際社会で孤立するアフガニスタン。国際社会の支援はどうして上手く行かなかったのか。再びテロの温床となる心配はないのか。アフガニスタンの視点も踏まえ、国際社会の対応を考える。

2回 10/28金 講師 内藤 正典「イスラム世界と欧米諸国のいま」

西欧とイスラムの関係は何も改善してはいない。ウクライナからの難民が殺到する前、シリア、アフガニスタン、イラクなどから多くのムスリムが流入したことで、ヨーロッパ社会にはイスラムへの嫌悪が高まり、中東諸国との関係も悪化した。この間、何が起きていたのかを西欧とイスラム世界の接点に位置するトルコという国から検証する。

3回 11/18金 講師 村田 雄二郎「プーチンと習近平の比較論から見るロシアと中国という国家」

ロシアのウクライナ侵攻の背景には、NATO拡大への懸念に加えて、プーチン大統領の「大ロシア」復活の野望や「ユーラシア主義」という思想的水脈があると指摘される。それは中国共産党の習近平総書記が唱導する「中華民族の偉大な復興」と多くの点で相似する。一筋縄ではいかない中ソ（露）関係の歴史をふまえつつ、二人の国家指導者の比較論を試みる。

4回 12/2金 講師 南川 文里「移民国家アメリカを問いなおす」

アメリカ合衆国は、国外からの移民も国民物語の一部と見なす「移民の国」と考えられてきたが、その像は、排外主義的なトランプ政権の成立や新型コロナ危機に直面して、大きく動揺している。「移民の国」というアメリカ特有の自画像は、どのようにして成立し、何をもたらしてきたのだろうか。その可能性と困難について考えたい。

5回 12/16金 講師 三牧 聖子「『例外国家』の終焉？ ―変わる世界、変わる米国」

「何十年も米国は自らの経済を犠牲にして外国を豊かにし、自国兵士を犠牲にして他国を守ってきました―今後は米国第一です」。2017年、こう述べてトランプが大統領に就任した。「米国第一」は現バイデン政権の外交も根強く規定している。歴史上、米国は自らを世界史の「例外国家」と位置付け、そうした使命感に基づく外交を展開してきたが、今日の米国は自信を失い、特に若者層にはナショナル・アイデンティティの根本的な変容が起こっている。米国の変容が国際秩序にどのように影響するかを考察する。

講師

南川 文里（みなみかわ ふみのり）

同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ
研究科　教授

博士（社会学）。一橋大学社会学部卒、一橋大学大学院社会学研究科博士課程後期課程単位取得退学。神戸市外国語大学准教授、立命館大学教授などを経て2022年4月より現職。専門は、社会学・アメリカ研究。著書に『未完の多文化主義――アメリカにおける人種、国家、多様性』（東京大学出版会/2021）、『アメリカ多文化社会論［新版］「多からなる一」の系譜と現在』（法律文化社/2022）

講師

三牧 聖子（みまき せいこ）

同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ
研究科　准教授

東京大学教養学部卒、同大大学院総合文化研究科で博士号取得（学術）。専門は国際関係論、アメリカ外交史。早稲田大学助手、米国ハーバード大学、ジョンズ・ホプキンズ大学研究員、高崎経済大学准教授等を経て現職。著書に『戦争違法化運動の時代』（名古屋大学出版会/2014、アメリカ学会清水博賞）、共訳・解説『リベラリズム―失われた歴史と現在』（青土社/2020）、共著『私たちが声を上げるとき―アメリカを変えた10の問い』（集英社/2022）

開催概要

定員	時間
36名	18:30～20:00
受講料	
15,000円（一括のみ）	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

堪能する 王朝美を

「京のみやび－宮廷文化の余薫－」

同志社大学宮廷文化研究センターは、天皇・朝廷・公家衆が平安時代以来受け継いできた「宮廷文化」を研究し深化させる拠点として活動しています。本講座では5名から京都の基層である宮廷文化をご紹介します。

講師

いわつぼ たけし
岩坪 健

同志社大学
文学部　教授

同志社大学文学部国文学科教授。同志社大学宮廷文化研究センター長。文学博士。1957年京都市生まれ。2014年に『源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道』で第15回紫式部学術賞を受賞。著書：『光源氏とティータイム』（新典社/2008）、『ウラ日本文学―古典文学の舞台裏―』（新典社/2011）、『錦絵で楽しむ源氏絵物語』編著（和泉書院/2012）、『源氏物語といけばな』（平凡社/2019）等。

講師

ふくだ　ともこ
福田 智子

同志社大学
文化情報学部　教授

福岡女子大学文学部国文学科卒業、九州大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（文学）。専門は平安文学・和歌文学。近年は香道にも興味を持つ。著作には、『平安中期私家集論―歌人・伝本・表現―』（単著・勉誠出版、2007年）、『恵慶百首全釈』『順百首全釈』『好忠百首全釈』（筑紫平安文学会著、風間書房、2008・2013・2018年）の他、『竹幽文庫の香道伝書　香道調度図・香道籬之菊』（共著、淡交社、2020年）がある。

講師

はまなか　くにひろ
浜中 邦弘

同志社大学
歴史資料館　准教授

同志社大学文学部文学研究科博士課程前期修了。1970年生まれ。学生時代に宇治平等院の発掘調査に参加し、平安時代の魅力を感じる。宇治市に就職し平安時代の摂関家について考古学的視点に基づき調査・研究を行う。大学に戻り江戸時代の摂関家(二条家)の邸宅を調査する機会に出会い、江戸時代の調査研究を進めている。専門は藤原摂関家の考古学。著書に『大学的京都ガイド―こだわりの歩き方』（共著、昭和堂 2012年）など。

1回 10/27木 講師 岩坪 健「源氏物語の意匠 ―絵画・華道・香道」

源氏物語は後世の文学作品のみならず、美術や伝統芸能にも多大な影響を及ぼしました。たとえば源氏物語絵巻、源氏流いけばな、源氏香、着物の意匠などです。源氏物語を朗読する、物語の巻名や登場人物名が付いたお香や銘菓を味わう、源氏物語をデザインした衣装を着るなど、古人は源氏物語を五感で楽しみました。その豊饒な世界をご紹介します。

2回 11/24木 講師 福田 智子「和泉式部 ―天才歌人の横顔―」

和泉式部は、平安中期、一条朝を代表する女性歌人です。恋多き「浮かれ女」として、口をついて出る言葉が自然と恋歌になるような、天才肌のイメージがありますね。ですが、彼女の和歌を支えているのは、持って生まれた才能だけではないようです。親王方との華麗な恋愛の陰で、歌ことばの学びを積み重ねていった、和泉式部の隠れた姿に迫ります。

3回 12/22木 講師 浜中 邦弘「藤原摂関家の考古学―藤原頼通・宇治・平等院から―」

末法初年にあたる1052年、宇治の地に藤原頼通が平等院を創立されました。そして平成の世には、平等院の修復と復元が行われました。私も発掘調査で関わり、様々な知見が得られました。他の発掘事例もあわせ頼通の世界について宇治を中心にみていきたいと思います。

4回 1/26木 講師 山科 言親「宮廷装束の雅 ―知識と技の伝承―」

天皇や公家が日々着用していた装束は、宮廷社会で育まれた美意識を視覚的に現代へ伝えてくれます。豊かな服飾文化をどのように伝承してきたのか、様々な種類の装束や儀式などの写真をご覧頂きながら、山科家の歴史を含めてご紹介いたします。

5回 3/23木 講師 大山 和哉「和歌を詠む人・なおす人」

和歌は天才歌人が魔法のように「ポン!」と生み出すもの…そんなイメージを持っていませんか?いえいえ、古典世界の歌人達も私たちと同じ人間。師匠にしごかれながら、一首の和歌を作るために毎度七転八倒していたのです。そんな彼らの姿を、江戸時代の実際の資料を使ってのぞいてみましょう。彼らの努力を知れば、和歌がもっと身近になるはず。

講師

やましな　ときちか
山科 言親

衣紋道山科流
若宗家

一般社団法人山科有職研究所代表理事。代々宮中の衣装である"装束"の調進・着装を伝承している山科家(旧公家)の 30 代後嗣。三勅祭「春日祭」「賀茂祭」「石清水祭」や『令和の御大礼』にて衣紋を務める。NHK「日曜美術館」をはじめ、メディアへの出演や、歴史番組の風俗考証等も行う。旧山科家邸宅である源鳳院にて宮廷文化を題材にした講演会の監修、企業や行政・文化団体への講演や顧問等を務めている。

講師

おおやま　かずや
大山 和哉

同志社大学
文学部　助教

京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。現在、同志社大学文学部国文学科助教。博士（文学）。第18回日本近世文学会賞受賞。江戸時代の和歌を専門とし、和歌が生まれ出る過程を、歌人の精神や社会システムと共に解き明かす。著書に『輪切りの江戸文化史　この一年に何が起こったか?』（共著、勉誠出版、2018年）、『和歌文学大系69　晩華和歌集／賀茂翁家集』（共著、明治書院、2019年）など。

開催概要

定員	時間
36名	13:30～15:00
受講料	
15,000円（一括のみ）	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

この秋限定の 特別イベント

無料

11/19土

同志社大学大学院 脳科学研究科開設10周年記念

「脳科学 サテライト教室」

主催：同志社大学大学院 脳科学研究科

人間の可能性が見えてくる脳科学研究の最先端の話を聞いてみよう!

定員	開催日	開催時間	会場
36名	11月19日(土)	受付13時～　開始13時30分　終了17時	同志社大学 東京サテライト・キャンパスセミナー室

＊参加を希望される方は、同封のお申込み用紙に記入いただき FAX にてお申込みください。お申込み多数の際は抽選にて参加者を決定いたします。

脳科学研究科の教授たちによるリレー講義

櫻井 芳雄
教授

意識の神経回路を探る

意識については未だ謎だらけですが、目にした刺激が意識にのぼるか否かを左右する神経回路の活動について、わかってきたことをお話しします。

高橋 晋
教授

脳の中の地図とコンパス

動物はあたかも地図やコンパスを持っているかのように移動します。ここでは、地図やコンパスのように活動する脳神経細胞についてお話しします。

高森 茂雄
教授

シナプスの中の液滴

細胞の中のタンパク質は均一に存在するのではなく、液一液相分離という現象で一部に限局することがわかってきました。シナプスにおける液一液相分離の実例をご紹介します。

御園生 裕明
教授

神経細胞の中の物流システム

神経細胞を形作り、脳の素子としての機能を実現しているのは、様々なタンパク質です。では、タンパク質は神経細胞の必要な場所にどのように運ばれているのでしょうか?

金子 奈穂子
教授

脳の再生能力を考える

脳は発達とともに急激に再生能力を失いますが、成熟した脳内でもわずかに「再生」が起きることが分かってきました。最新の研究成果をお話しします。

12/14水

「ランチタイム・チャペル・アワー in Tokyo」

京田辺キャンパスからのパイプオルガンの音色を楽しもう!

定員	開催日	お申込み締め切り	会場
36名	12月14日(水)	11月14日(月)17時	同志社大学 東京サテライト・キャンパスセミナー室

＊参加を希望される方は、同封のお申込み用紙に記入いただき FAX にてお申込みください。お申込み多数の際は抽選にて参加者を決定いたします。

主催：同志社大学キリスト教文化センター

奨励及び講演
森田 喜基
キリスト教文化センター准教授

12時　受付開始

12時35分　奨励　「本当のクリスマスはどこに?」

＊京田辺キャンパスの礼拝堂とオンラインで接続し 2 拠点でのチャペル・アワーを行います。

休憩

13時10分～　特別講演　「クリスマスの本当の意味を味わう」

街はクリスマス一色になるこの時期ですが、本来のクリスマス、約2000年前に現在のイスラエルでの出来事であるイエス・キリストの誕生とは、一体どのようなものだったのでしょうか。その実際と意味について、わかりやすく解説いたします。

終了　14時10分

2022年度秋学期
同志社講座

お申込み 受付開始　**2022年8月24日(水)13:00～**

WEB　同志社大学東京オフィス　検索　お申込みフォームをご利用ください。

https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/entry/entry.html

FAX　03-6228-7262

同封の「受講申込書」をご利用ください。

＊受付開始以前に受講申込書を送信されても受付いたしません。
開始以前に送信されたものは無効となりますのでご注意ください。

個人情報の取扱いについて

お申込みに際してご提供いただく個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び本学が定める「個人情報保護の基本方針」、「同志社個人情報保護規程」等に基づき、適正に取り扱います。お預かりした個人情報は、同志社講座ならびに同志社大学からのご案内に利用させていただき、ご本人の同意なく、法令上認められている次の場合を除いて第三者に提供いたしません。

- ご本人の同意を得た場合
- 利用目的の達成に必要な範囲内で、同志社大学の業務委託先（再委託先を含みます）に個人情報の取扱いの全部又は一部を委託することに伴って当該個人情報を提供する場合
- 上記の他、法令に基づき開示、提供することが求められた場合

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00～17:00

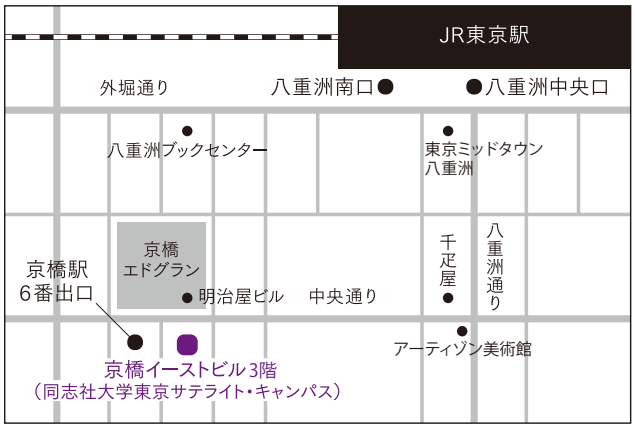
〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目7番19号
京橋イーストビル3階
（中央通り沿い　明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行があります）

TEL：03-6228-7260
FAX：03-6228-7262

E-mail：ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/

同志社大学東京オフィス　検索



- JR 東京駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ銀座線 京橋駅 6番出口 徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口 徒歩5分
- 都営浅草線 宝町駅 A7番出口 徒歩2分